※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究(理系)	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「古典探究 古文編」　「古典探究 漢文編」（大修館書店）						
副教材等	四訂版　読解をたいせつにする体系古典文法準拠ノート 三訂版　古典文法マスタードリル[用言・助動詞編] つながる・まとまる古文単語５００ＰＬＵＳ 三訂版　体系漢文 改訂版　体系漢文準拠ノート 九訂版　読解をたいせつにする体系古典文法 リテラ速読レッスン　漢文 vol.2 四訂版大学入学共通テスト実践演習古文・漢文編 2027 共通テスト対策【実力養成】重要問題演習古典						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典は予習・復習が欠かせない科目です。授業の前には単語を調べ現代語訳し、授業後には文法や句法の復習をすることを習慣にしましょう。
・「語彙」「文法」「句法」「敬語」等の基礎知識を用いて、書き手の考えや目的・意図を捉えて内容を解釈できるようになりましょう。
・登場人物の心情および物語の展開について主語を明確にして読み解くことができる能力を養いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	・作者は中宮定子をどのような人物だと感じたか、説明する。 ・周囲の女房たちはこの頃の清少納言をどのように見ていたか、本文をもとに話し合う。 ［教材］ 随筆/宮に初めて参りたるころ （枕草子）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・作者と兼家との間にどのようなことが起こったのか、時間を追って整理する。 ・「嘆きつつ……」の歌を「例よりはひきつくろひて書きて、うつろひたる菊にさし」て贈った作者の気持ちについて話し合う。 ［教材］ 日記/うつろひたる菊 （蜻蛉日記）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。 ・中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］ 史伝/刎頸の交わり （廉頗・藺相如）	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。【(1)イ】 b［読］：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。［A⑴イ］ c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・教科書の学習の発展内容として入試問題を扱い、多様な作品に触れ、初見の文章を読む力をつける。 ［教材］ 入試問題演習	a：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c：積極的に演習に取り組み、学習課題に沿って自己の理解を問い直そうとしている。	演習プリント	演習プリント	授業内活動 課題提出
前期期末	・想像力を養い、豊かな情操を培う。 ・我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。 ［教材］ 物語/車争ひ （源氏物語）	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出

※令和４年度以降入学生用

		c ：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。			
	・荊軻が秦王暗殺になかなか出発しなかったのはなぜか、まとめる。 ・易水での歌には荊軻のどのような気持ちが込められているのか、考える。 ・荊軻が秦の宮殿で秦王に献上したものは何か、まとめる。 ・秦王は荊軻の最初の一撃を免れたのに、なぜ殺されそうになったのか、理由をまとめる。 ［教材］ 史伝/ 風蕭蕭として易水寒し / 図窮まりて匕首見る （荊軻）	a ：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c ：秦王が荊軻の最初の一撃を免れた後、依然として危険な状態におかれた理由について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・教科書の学習の発展内容として入試問題を扱い、多様な作品に触れ、初見の文章を読む力をつける。 ［教材］ 入試問題演習	a ：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c ：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
後期中間	・現代の社会と結び付けて古典文学の世界を理解する。 ［教材］ 評論/俊成自讃歌のこと （無名抄）	a ：先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。［⑵エイ］ b［読］：「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりしている。［A⑴オ］ c ：先人のものの見方や感じ方に興味をもち、自分のものの見方や感じ方を豊かにしようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出
	・蒋氏が涙を流したのはなぜか、考える。 ・村人の生活と蒋氏の生活の違いをまとめる。 ・柳宗元はなぜこの文章を執筆したのか、考える。 ［教材］ 文章/捕蛇者説 （柳宗元）	a ：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。［A⑴エ］ c ：柳宗元がこの文章を執筆した動機について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	指名音読 小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業内活動 課題提出

※令和４年度以降入学生用

後期期末	・教科書の学習の発展内容として入試問題を扱い、多様な作品に触れ、初見の文章を読む力をつける。 ［教材］ 共通テスト入試問題演習	a ：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c ：積極的に演習に取り組み、学習課題に沿って自己の理解を問い直そうとしている。	演習プリント	演習プリント	授業内活動 課題提出
	・教科書の学習の発展内容として入試問題を扱い、多様な作品に触れ、初見の文章を読む力をつける。 ［教材］ 国公立二次入試問題演習	a ：古典を読むために必要な文語のきまり、句法について理解し、読解に活かせている。［⑵イ］ b［読］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。［A⑴イ］ c ：積極的に演習に取り組み、学習課題に沿って自己の理解を問い直そうとしている。	演習プリント	演習プリント	授業内活動 課題提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　１２０　）時間